

# 平成28年度 三条市体育部 活動報告

部長 捧 信之

## 1 研究主題

楽しく運動する児童の育成 ～体育学習の充実のための研修会～

## 2 研究の概要

日時	活動の概要	会場・参加者数
8月2日 (火)	◎実技講習会 「陸上競技を楽しむために ～指導のポイント～」 講師 新潟アルビレックスランニングクラブ スクールコーチ 植野 翼 様 概要 ・短距離、ハードル走、走り幅跳びのポイントを押さえた練習方法	三条燕総合グラウンド  24名
9月28日 (水)	◎実技講習 「楽しみながら動きを高める体育授業 ～器械運動の指導方法～」 講師 上越教育大学大学院 教授 周東 和好 様 概要 ・鉄棒運動の回転系の技の指導とマット・とび箱運動との関連を踏まえた指導	三条市立大崎小学校 体育館  27名

## 3 研究の実際

- ・短距離走、ハードル走、走り幅跳びについて、種目特性を踏まえた指導する時のポイントを教えていただいた。さらに、実際の練習メニューを体験するとともに、指導者の声かけについても学ぶことができた。指導する時は児童に「面白い、楽しい」を感じさせ、運動への動機づけをしていき、生涯スポーツへとつながるように意識して指導する必要性を学ぶことができた。
- ・「ゆりかご」「頭ブリッジ」などが器械運動に共通している動きづくりの運動として、マット運動に限らず器械運動で継続的に扱っていく必要性を理論的に指導していただいた。また、マット運動やとび箱運動、鉄棒運動の関連した動きを、実際に体験しながら系統的に指導していただいた。自分で動いた感覚を、児童に指導する時に言葉で伝えていくのが重要だと学ぶことができた。



【走り方の基本練習】



【器械運動の動きづくり】

## 4 成果と課題

### <成果>

2回の実技講習で児童への指導方法を体験することで、児童の立場に立った声かけを考え、効果的な実技指導へとつなげていく学びの機会となった。それぞれの運動の基本となる感覚や動きを一つの単元だけでなく、系統的、継続的に取り入れた授業を構成していく必要性を学ぶことができた。

### <課題>

体育部員の要望を踏まえた実技講習であり、個々の授業や指導で大いに役立つものであった。今後は、体育部の研修で学んだことを各学校でどのように取り上げ、広げていくかを考えた研修としていくことも大切である。